

a 学校教育目標	みはらミライの挑戦 ーレッツ チャレンジー	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 子どもたちの未来を保障し、地域とともにある学校 【ビジョン】(自校の将来像) 自分の未来、愛するふるさとの未来を創る教育活動を創造する。
----------	-----------------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策等	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					適正	不明	不適正	
確かな学力の育成	学び力の土台づくり(基礎・基本の定着)	桜山タイムによる基礎の反復や個別指導の充実	①算数科単元末テストの学期ごとの到達率が90点以上の児童の割合(低学年)、80点以上の児童の割合(3年生以上) ②桜山タイムで実施する基礎反復プリントにおいて、各学年で設定した問題数を5分以内に解ける児童の割合	①90%以上(低学年) 80%以上(3年生以上) ②90%以上										
	学び力の向上	めざす子供像「学び続ける子供」に向けた、「ミライプランadvance II」を活用した授業づくりや相互参観・研究授業の実施	①児童アンケートにおける肯定的回答の割合「授業で学んだ大切なことを考え、ふりかえり(R80)を書くことができています」「自分に合った学び方を考えて、自分から工夫して勉強している」 ②算数科で「見方・考え方モンスター」を活用した単元づくりを学期に1回以上	①85%以上 ②100%										
豊かな心の育成	つながり力の向上	めざす子供像「自分と人を大切にできる子供」に向けた、仲間や保護者、地域の方との関わり合い、認め合い、高め合いを通じた集団づくり活動の実施 ・学年に応じた、相手意識を持たせるための継続的な指導 ・充実した縦割り班活動	①児童アンケートにおける肯定的評価の割合「自分にはよいところがあると思う」「クラスの仲間の全員のよさを1つずつはわかる」「クラスのため、学年のため、学校のために、一緒に高めようとしている」「相手に応じた丁寧な言葉遣いができている」 ②児童同士による相互評価の肯定的回答の割合低学年「お兄さん、お姉さんは優しく接してくれている」高学年「下級生のために工夫して行動している」 ③CSアンケートにおける肯定的評価の割合「三原小の子は気持ちのよいあいさつをしてくれている」	①85%以上 ②85%以上 ③85%以上										
健やかな体	自分力の土台づくり(運動習慣の定着)	朝の運動時間「亦らっ子タイム」の実施 魅力的なわんぱくタイムの実施 亦楽舎ジムによる運動機会の充実	①児童アンケートにおける肯定的評価の割合「体を動かすことが好き」 ②体力・運動能力調査の結果が全国平均を上回った種目数	①90%以上 ②16種目中14種目										
	自分力の土台づくり(生活習慣の定着)	歯と口の健康に向けた活動の充実 ・学校医を招いての歯と口の授業 ・虫歯予防ポスターの作成 ・保健委員会を中心とした啓蒙活動	児童アンケートによる肯定的評価の割合「歯と口の健康のために、給食後自分から歯磨きをしている」	85%以上										
信頼される学校	自分力・つながり力・ゆめ力の向上	めざす子供像「ふるさと三原を愛する子供」に向けた、地域の強みに基づくクルー活動の充実	児童アンケートによる肯定的評価の割合 ①「地域や学校をよくするために何かしてみたいと思う」 ②「三原が好き」 ③「三原小学校に通ってよかったと思う」	85%以上										
	働きやすさと働きがいの両立	相談しやすく、助け合える組織風土づくり 業務のスクラップ・アンド・ビルドの徹底 子供と向き合える時間の確保	職員アンケートによる肯定的評価の割合 ①「小さなことでも相談できる雰囲気があり、助け合いながら、同じ方向を向いて組織として取り組もうとする風土がある」 ②「業務改善や時数カットにより、子供に向き合う時間や見直しをもって学級事務ができる時間が確保されている」 ③「子供の成長を感じている」	①85%以上 ②85%以上 ③100%以上										

【j: 自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。 ハ: わからない。
ロ: 自己評価は適正でない。